

第 27 回西日本技術士研究・業績発表年次大会(高松)

1. 大会の概要

テーマ:アフターコロナ時代における持続可能な地域の活性化に向けて～今,技術士に求められること～

日 時:2023 年 10 月 6 日 (金) ～7 日 (土)

場 所: J R ホテルクレメント高松

参加者:テクニカルツアー34名, レセプション73名, 年次大会105名

2. 第一日目

(1) テクニカルツアー (13 時～17 時 30 分)

J R ホテルクレメント高松に集合し, 瀬戸内海に面した「日本三大水城」の一つで, 松平家が長く治めた名城玉藻城跡の「玉藻公園」を皮切りに, 瀬戸内海国立公園の一角をなし, 近年「やしまーる」が新たに整備された「屋島」, さらに天下の名勝「栗林公園」を巡るテクニカルツアーが開催された。

まず, 「玉藻公園」では, 瀬戸内海を臨む玉藻公園入口から, このほど復元された「桜御門」等を散策しながら公園内を巡った。続いて, 「屋島」では源平の古戦場「壇ノ浦」を望みながら屋島山上へ。そして, 屋島の新たなシンボルである「やしまーる」, 国内でも珍しい山頂水族館である「屋島水族館」, 四国八十八か所霊場の一つ「屋島寺」を訪れた。最後に, 日本有数の広さを誇る大名庭園である「栗林公園」を巡り, テクニカルツアーを終えた。



写真-1 テクニカルツアーの状況

(2) 歓迎レセプション・交流会 (18 時 15 分～20 時 30 分)

邦楽演奏のなか, J R ホテルクレメント高松 飛天の間にて開催された。末澤大会実行委員長の歓迎挨拶で始まり, 参議院議員・与党技術士議員連盟幹事長の足立敏之様及び国土交通省四国地方整備局長の佐々木淑充様から来賓挨拶を頂き, 日本技術士会の須賀理事の乾杯で宴が始まった。会員の懇親を深めなが

ら, 讃岐名物のうどんもふるまわれ, 盛会裏に, 近畿本部の田岡本部長の中締めにより閉会した。



写真-2 歓迎レセプション・交流会の状況

3. 第二日目

< J R ホテルクレメント高松 3F 「飛天」の間 >

(1) 大会式典 (9 時 30 分～10 時 10 分)

栗本大会実行副委員長の司会・進行のもと, 主催者代表として天羽四国本部長の開会挨拶に始まり, 日本技術士会の黒川副会長の式辞, 来賓として, 佐々木国土交通省四国地方整備局長, 池田香川県知事(代理 竹内土木部長), 大西高松市長(代理 加藤副市長)の挨拶を頂いた。また, 足立参議院議員から祝文を頂戴した。



写真-3 大会式典の状況

(2) 基調講演 (10 時 20 分～11 時 50 分)

基調講演 I :『瀬戸内国際芸術祭～アートによる地域再生の試み～』

香川県政策部文化芸術局瀬戸内国際芸術祭推進課主幹 今瀧 哲之 氏

基調講演 II :『四国遍路と世界遺産を巡る動向』

愛媛大学法文学部教授 四国遍路・世界の巡礼研究センター長 胡 光 氏



写真-4 基調講演Ⅰの状況



写真-5 基調講演Ⅱの状況

(3) 分科会 (第一, 第二分科会) <13時~17時>

論文発表は、二つの分科会に分かれて、それぞれ基調発表に続いて、論文発表が行われた。

第一分科会は、谷脇座長のもと、一般を対象とし、高松市の岡田都市計画課長による「地方創生・地域活性化に向けた取組～高松市のまちづくりについて～」と題した基調発表に続き、以下の論文発表があった。

- ・静岡県立総合病院管理一体型 ESCO 事業での技術士の役割について 石川 勝也【中部】衛生工学, 総合技術監理
- ・日本技術士会の新たな活動の第一歩 ～今できる様々な情報発信と連携活動～ 間島 勝彦【近畿】経営工学
- ・RMO (地域運営組織) の推進と多分野庁内連携について 阿部 典子【中国】建設
- ・アフターコロナ時代の小さな一歩 ～技術士の取り組み～ 清崎 淳子【九州】応用理学
- ・財政的に持続可能な公共施設等の再編について 神原 孝行【四国】情報工学
- ・ネパール国における蛇籠を用いた持続可能な構造物の設計と施工指導 下村 昭司【四国】建設

第二分科会は、仲間座長のもと、青年男女を対象とし、㈱富士クリーンの金城再生エネルギー部長による「種々の廃棄物から安定的にバイオガスを回収～地域における混合系バイオマス等による乾式メタン発酵技術を適用したバイオマスエネルギー地域自立システムの実証

事業～」と題した基調発表に続き、以下の論文発表があった。

- ・OGI 電池が変える社会 鶴田 靖孝【九州】電気電子
- ・地域公共交通の活性化に向けた取り組みについて 西沢 尚之【四国】情報工学
- ・仕掛学による専門分野を超えた応用能力の研鑽に関する挑戦 成田 尚宣【中部】生物工学
- ・中山道守山宿の歴史的景観を活かした官民連携まちづくり 三好 昌子【近畿】建設
- ・プロボノを通じたソーシャルキャピタルと関係人口の創出～技術士の視点から～ 新淵 大輔【中国】環境, 総合技術監理
- ・アイデア売買による社会の向上 赤石 維衆【九州】建設, 衛生工学, 総合技術監理

分科会終了後、谷脇大会実行副委員長より大会講評が行われ、近畿本部の藤内大会実行副委員長による次回開催案内の後、四国本部の末澤大会実行委員長による閉会挨拶で幕を閉じた。



写真-6 閉会挨拶の状況

4. 大会を終えて

今回の大会は、基調講演を2題にしたほか、各分科会では、基調発表に引き続き、論文発表を行うなど、新たな取り組みも行った。

また、分科会の論文発表も、建設部門のみならず、衛生工学、経営工学、応用理学、情報工学、電気電子、生物工学、環境部門と合計12編の発表のうち9編が建設部門以外の部門での発表となり、多様な技術部門にわたることとなった。

大原 隆司(おおはら たかし)

技術士(建設部門, 総合技術監理部門)

四国本部広報委員

㈱四電技術コンサルタント

E-mail: t-ooohara@yon-c.co.jp

